



平成 30 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 富士ソフトサービスビューロ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐 藤 諭
(コード番号：6188 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 小 木 曾 雅 浩
(TEL. 03-5600-1731)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 10 月 25 日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想値を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年 3 月期 通期業績予想数値の修正(平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,700	330	330	240	35.56
今回修正予想 (B)	10,038	436	442	311	46.11
増減額 (B - A)	338	106	112	71	—
増減率 (%)	3.5	32.1	33.9	29.6	—
(ご参考)前期通期実績 (平成29年3月期)	8,546	270	284	209	31.06

※当社は、平成 30 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1 株あたり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

【通期累計期間業績予想値の修正】

当社では、「特化型コールセンターを中心とした B P O 業務の積極展開」を課題に、「年金相談及び年金事務業務」、「I T ヘルプデスク」、「金融系オフィスサービス」を成長の 3 本柱としてサービスの拡大を図ってまいりました。

売上高につきましては、コールセンターサービス分野、B P O サービス分野ともに官公庁向けの案件が拡大したことにより好調に推移いたしました。

利益につきましては、売上高の拡大に加え、官公庁関連のスポット案件が貢献したこと、効率的な業務運営等により、前回発表予想値を上回る見込みとなりました。

これらの理由に基づき、通期累計期間業績予想値を上方修正いたします。
なお、当社は平成30年3月期の決算発表を平成30年5月9日に予定しております。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上